

ワンヘルスの推進

「アジア防疫センター(仮称)」の誘致を推進 (1,400万円)

人獣共通感染症対策の拠点の誘致を推進するため、国への働きかけを行う誘致推進本部を設置します。

また、国内外における人獣共通感染症対策や研究状況に関する調査を実施します。

動物保健衛生所の設置を準備 (400万円)

家畜、野生動物、愛玩動物の保健衛生を一元的に担う動物保健衛生所の設置に向け、庁内検討会議を開催するとともに、動物保健衛生業務に対応できる職員を育成します。

Q 動物保健衛生所とは、どんな機関ですか？

A 家畜、野生動物、愛玩動物の保健衛生について一元的に取り組む、国内でも先進的な機関です。

保健環境研究所の基本計画を策定 (3,700万円)

県保健環境研究所がワンヘルスの理念を実践する中核的な拠点施設となるよう、研究所に必要となる機能や関係施設との連携、建設候補地等について検討し、基本計画を策定します。



<現在の県保健環境研究所>

生物多様性の保全を推進 (200万円) [2月補正 1,600万円]

自然環境の保全を推進するため、里地里山において生態系に影響を与える野生動物の生息状況調査を実施します。

また、生物多様性に関する情報を一元的に発信・提供するシステムを構築します。

ワンヘルスに関する教育を推進 (2,000万円)

生徒が生涯にわたって自らの健康や環境を適切に管理・改善していくための資質・能力を身に付けるため、ワンヘルスに関する教育啓発のためのリーフレットを配布するとともに、高校生向け教材を作成し、その活用方法についての研究を通してワンヘルスの理念の普及・啓発を図ります。

ポストコロナに向けた基盤づくり

新たな成長産業の創出

福岡県発の新ビジネスの創出

宇宙分野へのビジネス展開を支援 (3,000万円)

宇宙ビジネスへの県内企業の参入促進と本県発の宇宙ビジネスの創出を目指すため、県内企業が行うロケット、人工衛星等の宇宙関連機器に係る研究開発を支援します。

ブロックチェーン技術を活用した製品・サービスの開発を支援 (1,400万円)

ブロックチェーン技術を活用した県内企業の製品・サービスの開発を支援します。

「製品開発前に行う実現可能性調査」、「製品開発」及び「社会実装・実証実験」に対し、各フェーズに応じた開発補助金に加え専門家によるアドバイス等、一貫した支援を実施します。

Q 「ブロックチェーン」技術とはどのようなものですか？

A ブロックチェーンとは、複数のコンピューターの情報インターネットを介して鎖のようにつながり、高い安全性を保ちながら、やり取りし合う技術のことです。

第三者からのデータの改ざんを防ぎ、また、低コストでシステム運用ができることから、オンライン上での金融取引やトレーサビリティ(商品の生産や流過程の追跡)など、様々な分野での活用が期待されている技術です。

バイオ産業の拠点化を推進 (1億7,100万円)

「次世代創薬」、「再生医療」、「機能性表示食品」、「スマートセル」の4分野における産学官共同研究開発等を実施し、バイオ技術を核とした新産業の創出や関連企業・研究機関の一大集積を目指します。

北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトを推進 (5,200万円)

付加価値の高い技術・製品開発を推進するため、中小サプライヤー企業間の連携を促進します。

また、県内水素ステーションを活用した燃料電池(FC)トラックの走行実証を行い、市販化後の速やかなFCトラックの普及を目指します。



<水素ステーション>

